

さいたま

Nursing

2019.7.31 NO.120

看護の日



看護の日・看護週間とは

「看護の日」とはフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ5月12日に制定されました。各支部で、子供からお年寄りまでご参加いただけるイベントを開催しています。

会員数	23,469名
保健師	424名
助産師	873名
看護師	21,492名
准看護師	680名
対前年度比	770名増

(2019.5.31現在)



Contents

- 2019年度 通常総会開催 P2
- ❖ 会長挨拶 P3
- ❖ 2019年度 理事メッセージ P4
- ❖ 2019年度 埼玉県看護協会長表彰受賞者一覧
特別講演レポート P5
- ❖ 特集：生きるを、ともに、つくる。 P6~9
- ❖ 第3回 准看護師進学支援交流会 P10
- ❖ 研修会開催のお知らせ P11
- ❖ お知らせ P12



2019年度

通常総会開催

日時：2019年6月15日（土） 10:00～16:00
場所：埼玉県看護協会研修センター（西大宮）・八木ホール



委任状19,048名、出席会員数428名、役員数18名、合計19,494名により通常総会が開催された。冒頭のあいさつで熊木孝子会長は、前年度（平成30年度）の事業がほぼ計画どおり遂行できたことを会員に報告し、協力への感謝を伝えた。

今後、少子超高齢社会を迎え、医療が地域完結型へ移行する中で、看護職にはチーム医療のキーパーソンやコーディネーターとしての役割が期せられていると示した。看護職が、保健・医療・福祉の各分野で有機的に連携を図っていきけるよう尽力し、日本看護協会が提唱する「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」の実現を見据えた活動を推進していくと決意を表明した。

さらに、2019年度の重点事業として、1. 地域包括ケアシステムにおける看護提供体制の推進 2. 看護職の確保定着事業の強化 3. 職能委員会の機能強化と連携を掲げ、継続して取り組む事業として1. 社会のニーズに対応できる看護職の育成・支援 2. 県民への健康づくり支援を推進していくこと、その遂行のためにも組織力を強化していくと

結んだ。

報告事項では、「平成30年度事業報告」「2019年度重点事業及び事業計画」「2019年度収支予算」が報告された。いくつかの質疑応答の後、会長は「会員のご意見を真摯に受け止め今年度の活動に反映したい」と述べた。

決議事項のうち、平成30年度決算報告及び監査報告は承認され、2019年度改選役員及び推薦委員等の選任についても、候補者全員が承認された。

議事終了後、日本看護協会福井トシ子会長をお迎えし「看護の将来ビジョンー地域包括ケア時代をみすえた看護職の役割ー」と題して講演があった。迎え来る少子・超高齢・多死社会の中において「看護の力で健康な社会を！」と力強いメッセージが示され、大きな力を届けていただいた。

日本看護協会歌「光求めて」を合唱して、6年にわたる任期を満了した熊木会長より、松田新会長へバトンが渡され、今年度の通常総会が閉会した。

（広報委員会）





ごあいさつ

公益社団法人埼玉県看護協会 会長 松田 久美子

会員の皆さまには日頃より当協会の運営にご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

6月15日、400人を超す多くの会員の皆さまのご出席のもと、令和元年度埼玉県看護協会通常総会が開催されました。この総会において、任期満了で退任された熊木孝子会長の後任として新会長に就任しました松田久美子でございます。埼玉県の2万4千余の会員の代表として、改めて責任の重さを深く感じております。皆さまにはこれまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、令和元年度の事業は定款に示した10項目の事業に沿い、3項目の重点事業と2項目の継続事業について理事会承認のもと、活動を開始しております。

私たちを取り巻く国や社会の動きでは、昨年「働き方改革関連法」が成立、この4月より労働基準法において年次有給休暇5日間取得が義務化され、「労働時間等見直しガイドライン」で勤務間インターバルの確保が努力義務化されました。埼玉県看護協会では、これまで取り組んできた看護職の確保・定着事業であるワーク・ライフ・バランス推進ワークショップは終了いたしました。新たな働き方改革として日本看護協会が公表した「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン」に基づいた、ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の推進に取り組めます。患者・利用者の尊厳を守り、安全で質の高い看護を持続的に提供するとともに、働く看護職が安心して働き続けられる労働環境づくり、またハラスメントのない職場風土を育む組織づくりについて皆さまを支援していく所存です。そして、私たち看護協会がヘルシーワークプレイスのモデルになれるよう努めてまいります。

通常総会のあいさつで、私は3つの約束を皆さまにお伝えいたしました。まず、組織力の向上。これは熊木前会長が県内を行脚し非会員施設の管理者の方々にお会いし対話したことを引き継ぐこと。組織強化委員の力を借りて継続いたしますので、管理者の皆さまにもぜひお力添えをお願いいたします。つぎに、経営上の課題である訪問看護ステーション事業の精査です。最後に、ひとりでも多くの皆さまに新研修センターにお越しいただくことです。これまで多くの諸先輩方のお力があってできた私たちの財産である新研修センターも3年目を迎え、ますます皆さまに活用され愛される会館となりますようお願いしております。

これからも会員の皆さまのご意見・ご要望をお伺いし、関連の機関・団体等と連携し、多くの事業と健全な運営を展開すべく、役職員一同とともに力を合わせ取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2019年度 理事メッセージ



専務理事 村木 京子

令和元年、新たな体制で新年度の重点事業が計画通り開始しました。組織強化の基盤となり、会員をつなぐ架け橋となるような広報活動に努め、准看護師の進学支援も継続して取り組んでまいります。検討中の事業継続計画（BCP）は、被災県を想定した受援体制の整備、看護職能団体である強みを生かした貢献ができるような具体的内容で整備したいと考えています。災害に関する地域や県の災害時医療救護活動に係る体制整備等の会議が本格化しています。会議には意見を以って参画し、本会の役割が果たせるよう情報の共有に努めたいと思います。



常務理事 瀬山 澄江

埼玉高齢者介護研修センターを担当し8年目となります。こちらでは例年多くの修了者を送り出している「看護学生実習指導者講習会」が活気ある雰囲気の中進められています。介護者向けの研修も多く企画され、看護師継続教育と共に開設当初から18年が経過いたしました。また医療安全に関する管理者研修等も演習を行いながら取り組んでおります。会員皆様からの、ご意見ご要望をいただき、社会情勢に合った研修企画をしていく所存です。



常務理事 松本 恵子

少子化が進む中、今後必要となる看護職を着実に確保するため、看護職確保・定着への取り組みを進めていきます。

看護職確保策の柱である届出制度（2015年10月施行）においては、離職者数（推計）に占める届出者割合は埼玉県12%程度（全国平均15%）です。届出制度の理解、届出された方への復職支援研修、就業相談など積極的に実施し看護職確保に取り組めます。

定着については「働き方改革法」を追い風に、看護職一人ひとりが生涯にわたり健康で安全に働くことができる持続可能な働き方を目指して労働環境整備へ取り組みます。



常務理事 星野 恵子

主に一般研修を中心にした教育の企画運営、看護研究学会の企画運営、助産師職能に関すること、そして認定看護師の資格取得や派遣事業等を担当しております。

いま、看護基礎教育の4年制化の検討やNP、特定看護師、認定看護師教育の制度変更等、看護教育そのものが大きく変化しており、より質の高い看護実践能力が求められています。

日本看護協会の方針を基に、会員の皆様のニーズに応じた研修、看護研究学会を実施、皆様により一層の興味をもって参加していただけるよう努めてまいります。



(新)常務理事 各務 初恵

地域包括ケアシステムの構築が進められ、医療提供体制は大きく変わろうとしています。病院をはじめ福祉関係施設等地域で活躍する看護管理者はこのシステムを実現させる要です。ファースト・セカンド・サード各レベルの認定看護管理者教育の充実を図っていきます。また、地震・集中豪雨と災害は突然やってくる。被災者への支援をはじめ災害看護を担う看護職の育成には力を注いでいきます。災害看護が看護基礎教育においても注目されています。埼玉県看護協会の重点事業をこれらの視点から取り組んでまいります。

2019年度 各理事一覧

職能理事	澤登 智子(保) 谷島 春江(助) 細谷 美穂(看Ⅰ) 【新】関口 敬子(看Ⅱ)
地区理事	星野 純子 小川 裕美子 板山 正美
監 事	田邊奈緒子 田島 恵子 齋藤 栄子

2019年度 埼玉県看護協会会長表彰受賞者

埼玉県看護協会会員として20年以上在籍し、協会業務の向上・発展に功績のあった24名の方が埼玉県看護協会会長表彰を受けられました。おめでとうございます。

氏名	所属
岸 由紀子	秩父市立病院
柿沼 直美	東都医療大学
西島 涼子	東松山市立市民病院
磯部 幸子	埼玉医科大学病院
山口マツ子	丸木記念福祉メディカルセンター
宇田川洋子	小川赤十字病院
嶋津 幸恵	埼玉医科大学総合医療センター
鈴木むつ子	埼玉医科大学かわごえクリニック
小川原智美	国立病院機構埼玉病院
高野 紀子	並木病院
富岡 鶴代	小林病院
田代 妙子	伊奈病院
押田 敬子	埼玉県総合リハビリテーションセンター
小野寺 澄	さいたま赤十字病院
橋爪 淳子	さいたま市立病院
高橋 竜子	西大宮病院
金澤千恵子	自治医科大学附属さいたま医療センター

氏名	所属
山本 裕子	中島病院
尾形 悦	川口市高齢者総合福祉センター サンテピア
松居 千明	済生会川口総合病院
千田 真子	春日部市立医療センター
鈴木 豊子	丸山記念総合病院
小野 静枝	越谷市立病院
吉原 尚子	獨協医科大学 埼玉医療センター



表彰者

特別講演レポート

看護の将来ビジョン —地域包括ケア時代をみすえた看護職の役割—

通常総会后、日本看護協会 会長の福井トシ子氏より特別講演がありました。

2025年には、団塊の世代全員が75歳以上になり少子・高齢化が進み、生産年齢人口割合も減少します。さらに、ICT/IoTによる効率化、AIの活用亢進等、暮らし方そのものに変化が訪れています。

社会情勢の変化に伴い医療・看護へのニーズは増大しています。また、患者の健康問題の長期化、患者像の複雑化も増していきます。福井会長より、<生涯にわたり生活と保健・医療・福祉をつなぐ看護の提供>というビジョンが掲げられ、ビジョン達成に向けて「地域包括ケアシステム構築への参画」「暮らしの場における看護機能の強化」が必要であり、あらたな看護の価値創造が重要であると示されました。

私たち看護職が地域の方に貢献できることを確立していくこと、看護職の連携調整能力・マネジメントスキルを発揮することが重要であると理解しました。

今後、ますます多様化する患者・利用者のニーズに対応していくためには、全ての看護職に高い能力が求められます。教育の強化と継続した研鑽に根ざした専門性をもって看護の質の向上を図ることが大切であり、保健師、助産師、看護師のラダーを活用したあらゆる場で活躍できる看護職が期待されていると改めて感じました。

来年はナースンゲール生誕200年。WHO、ICNの賛同を得て世界的に広がりを見せている「Nursing Now」(看護の力で健康な社会を)を合言葉に一人一人が考え行動していきたいと感じました。

(広報委員会)



生きるを、ともに、つくる。

急性期病院での 看護のかたち

私たち看護職は様々な場で看護のありかたを問われる時代となっています。
急性期病院で看護管理者として活躍されている相馬真貴子氏よりどのように地域と連携し、
患者を支えているのかの事例を伺いました。

余命1か月 軽井沢旅行の実現



さいたま市民医療センター
認定看護管理者・がん化学療法看護認定看護師 副看護部長 相馬 真貴子氏

当院のスタッフが患者さん、ご家族の思いを受け止め、その実現のために前例にとられない行動を起こしました。顔を合わせたことがなくとも、医療職・その他職種にかかわらず賛同してくださった多くの方と連携をとることで患者さんの望みを実現することができました。

今回は、余命1か月のがん患者と向き合い、患者の望みであった軽井沢への旅行を実現させたケースについてご紹介します。

事例：Aさん 54歳 女性の場合

病名：S状結腸癌 Stage IV
腹膜播種・肝転移
治療経過：化学療法(3次治療目施行中)
家族背景：ご主人と2人暮らし・愛犬1匹

- 20XX年〇月 腹膜播種による空腸完全狭窄(癌性腹膜炎)について告知される
- 播種による複数の狭窄のため、食事ができない状況が持続するため化学療法の継続は困難
- 余命については確証はないが、1、2か月の可能性がある

宣告後のAさんの思い

- 自分が死ぬことに対する不安
- Aさんの母と弟にどう伝えるのか
- 限られた余生の過ごし方
- 家族以外の友人などに会うことについて
- 身辺整理をしたい
- 勤務先に挨拶をしたい
- 終活ノートを作りたい
- 歩けるうちに散歩に行きたい

ご主人、愛犬と一緒に温泉旅行に行きたい



Aさん

落胆し、悲しい表情をして、悲しい笑顔を浮かべながらも、
「胃瘻を作って、点滴の管理方法を覚えて旅行に行くことはできますか？」
「飲み込まなくても良いから、好きな物を味わいたい。大好きなお酒を飲んで、夫と愛犬も一緒に泊まれる温泉宿に泊まりたい!!」

ご主人

「妻の思うようにしてあげたい!!」
「せめて大好きなお酒を飲ませてあげたい。」



一番の願い・温泉旅行実現にむけて それぞれの「思い」



主治医

「この旅行を叶えてあげたい!!」
「おなかが増えてきたら近くのトイレで胃瘻から開放し内容を棄てれば良い。点滴に関してもご主人が点滴の方法を覚えてくれれば可能。何があっても我々はいつでもドアを開けて待っています。」

病棟看護師 退院調整看護師

「ストーマは自己管理できているけど、胃瘻造設と管理、ポートの管理も必要。その他、体調面を考慮すると滞在中も医療者の介入が必要。」
「残された時間は少ない今、この旅行は実現させてあげたい!!」



それぞれの「思い」がつながり、 実現した旅行

インフォームド・コンセントの最後に、話を聞かれていたご主人から「妻と、旅行に行くことはできますか?」という質問がありました。状況は芳しいとはいえませんが、奥様の願いを実現させたいという気持ちが伝わる問いかけでした。

担当医師が後に語ったのは、ご夫婦には、病状をコントロールしながら対応することができる理解力があったこと、そして看護師の協力姿勢が明確であったことが旅行実現を後押しする決め手であったということでした。「ご夫婦と愛犬との旅行の実現」その目標が定まった後は時間との勝負でした。早く、そして確実に準備を進めなければ時機を失ってしまうのです。限られた時間の中でベストを選択し、時期なども逆算して退院調整を行い、同時に患者さんご本人、ご主人によるセルフケアの支援、旅先での「もしも」に備えた受け入れ先確保などチームが一丸となって奔走しました。

旅行(2泊3日)実現までの 1か月間の準備

- 1 CVポート/24時間持続点滴のための手技
 - ①ミキシング手技、刺入部の固定方法
 - ②ポートトラブルへの対応(ヘパロック・抜針・穿刺)
 - ③カフティポンプの操作
- 2 旅先での訪問診療に繋ぐために、退院して地域連携を図り在宅療養を調整
- 3 胃瘻造設と減圧処置の習得
(ストーマ・胃瘻よりTotal: 約3,000ml/日)
- 4 旅先の訪問診療・訪問看護ステーションとの受け入れ調整
- 5 宿泊先ホテルの情報収集と宿泊中の協力依頼

夢の旅行を終えて

Aさんは、旅行後1週間ほどで沢山の写真と思い出話をお土産に病院まで足を運んでくれました。「旅行先で訪問看護師さんの支援があった。だからこそ安心して旅行を楽しむことができた」との言葉が聞かれました。ご主人からも「ホテルからも配慮をいただき、帰り際にはスタッフの方々が目に涙を浮かべて見送ってくださった」と最高のおもてなしであったことも話してくださいました。

当院の医師・看護師等のスタッフはもとより、快く受け入れてくださった現地の訪問看護ステーションの皆さま、さらには地域の宿泊施設のスタッフの皆さま。全員がAさんが「Aさんらしく」過ごすことを支えるためにつながることで軽井沢旅行は実現できたといえます。

Aさんは、旅行を終えて1か月後に、ご主人に見守られ天国へ旅立たれました。当センターと、旅先である地域、現地の訪問看護ステーション、緊急時の受け入れを受諾くださっていた現地の病院、さらには宿泊施設様をAさんがつないでくれたのだと感じています。



〇〇訪問看護ステーション様

拝啓

Aさんへ余命宣告されたのは〇月〇日でした。Aさんより主治医へ「夫と犬と共に軽井沢2泊3日の旅行に行きたい。」との申し出がありました。病棟看護師や退院調整看護師は動揺しました。すぐにカンファレンスを実施したところ主治医より「この旅を叶えてあげたい。」との言葉があり、この日よりAさんへの中心静脈をはじめとした指導を開始しました。

貴ステーション様にご相談した折に、「是非、協力させてください。」とお言葉をいただき驚いたとともに大変嬉しく思いました。△月△日、Aさんは「この旅行を楽しめます。」と笑顔でご退院されました。

旅行最終日には、緩和ケア認定看護師のBさんより3日間の情報をいただきました。現地の医師との連携や旅行先で念願の梅酒を楽しまれた等、Aさんが満足されて軽井沢から帰途につかれたとの一報をいただき主治医、病棟看護師と共に喜びを共有いたしました。

私たち病院スタッフをはじめ、在宅スタッフも安全に埼玉県に帰ってくることを心待ちにしておりました。

埼玉県さいたま市の当センターと長野県〇〇町、貴訪問看護ステーション・〇〇病院、〇〇ホテルさまをAさんがつないでくれました。

敬具

退院調整看護師

退院調整看護師様

拝啓

Aさんはとても前向きに、ひたむきに頑張っておられた方なのですね。その力はどこからくるのか伺ってみたところ、「同世代の友人が急死することが続き、自分はまだがんで良かったと思う。急じゃないから、まだ時間があるからね。」とくったくのない表情でお話しされていました。旅行のために購入したと教えてくれたカメラ操作も楽しまれており、まだまだ沢山やりたい事があると楽しんでました。と、同時に動けなくなる自分の姿も覚悟されていることも強く伺え、だからこそ今日を、この旅行を、これから楽しむのだという気持ちが伝わってくる3日間でした。

Aさんの様子から、後方で支えている医療者の姿が、自然に伝わってくるものを感じました。さいたま市のプライマリナーズをはじめとする医療チームの思いを引き継ぎ、いかに良いコンディションでこの旅行を過ごしていただけるか、そしてさいたま市の医療チームにまたつなげる、という気持ちで支援させていただきました。

敬具

〇〇訪問看護ステーション

患者・家族の思いが医療者をつなぐ

今まで患者・家族の思いをつなぐためには、看護管理者として地域施設との顔の見える関係性の構築やケアの継続性、現場と在宅とのケアのギャップを埋めていくことが重要であると考えてきました。しかし、今回のケースを通して、**患者・家族の思いが医療者をつないでいる**のではないだろうか考えることができました。「地域包括ケアシステムの構築」が推進されている中、看護管理者として何かできるのか日々問いただす毎日ではありますが、「ひとりひとりの患者の思いを理解し、その時々におとずれる意思決定の場面を支え、施設内のチームのみならず地域施設とも連携して患者・ご家族を支えていく。」このような現場の環境を構築していくことが重要ではないでしょうか。

(相馬氏)



さいたま市民医療センターの皆様

思いを
理解する

意志決定を
支える

チームで
支える

●社会医療法人 **さいたま市民医療センター** 平成21年3月開院(公設民営)

病床数：340床(一般病床289床、回復期リハビリ病床47床、ICU4床) 平均在院日数：11.5日 看護体制：7対1 病院機能：地域医療支援病院機能、埼玉県災害拠点病院(埼玉県18施設)、成人・小児第2次救急指定病院、埼玉県がん診療指定病院 救急車受け入れ台数：約5,000台/年※24時間365日緊急手術・心カテ・内視鏡受入れ可能

第3回 准看護師進学支援交流会

後援：埼玉県・埼玉県医師会

プログラム

7月6日(土)開催

午前の部 (10:00~12:00)

■挨拶

埼玉県保健医療部 医療人材課長
梶ヶ谷 信之

■講演会

1. 埼玉県医師会 坂本 嗣郎 氏
(埼玉県医師会 大宮医師会立大宮准看護学校 学校長)
2. 看護管理者 城戸 秀美 氏
(埼玉精神神経センター 看護部長)
3. 2年課程卒業生 山本 裕史 氏 (大生病院)
4. 通信制課程卒業生 高橋 麻友子 氏
(横田マタニティホスピタル)

昼の部 (12:00~13:30)

■看護学校別学校個別相談
(学校別個別ブースを自由に訪問)

午後の部 (13:30~15:00)

■受験対策講座
メビウス教育研究所 講師 折田 誠子 氏

メッセージ

●坂本嗣郎 氏

- 准看護師のレベルアップ、質向上の必要性について
- ご自身の入院体験で感じた看護師の役割の重要性や、考えることのできる看護師、判断できる看護師の必要性について

●城戸秀美 氏

- 自施設における准看護師支援の実際について
- 働きながら進学した人、進学できなかった人の理由について具体的な話

●山本裕史 氏

- 准看護師の時の看護観が、進学し実習で出会った患者さんや指導者をとおして変わってきた

●高橋麻友子 氏

- 講演にあたって緊張している自分の状態を解剖生理学的に説明し、准看護師の時にはこのようなことをあまり考えずに(アセスメントせずに)業務をこなしていたが、看護師となり患者の病態・状態を捉えることができるようになった、またその大切さを知った



学校別相談会



受験対策講座

准看護師進学支援今後の展望

看護を考える委員会 委員長 石川 治美

地域包括ケアシステムの構築が進む中、看護職に求められているのは、急性期から在宅医療までさまざまな場で、エビデンスに基づいた安全で質の高い看護をタイムリーに提供することができる能力です。そのような能力を備えた看護師が一人でも多く輩出され、さまざまな場で力を発揮することが、看護の質向上に繋がります。

全国一早い高齢化率、全国一少ない人口10万当たりの看護職、そして全国一准看護師養成所が多い埼玉県において、本委員会が、看護の質向上を目標に准看護師進学支援を継続していくことは大きな意義があるものだと考えます。そして、現在検討されている看護師基礎教育4年制化が准看護師問題にどのような影響を及ぼすのか、今後の動向を注視すると共に、准看護師進学支援の在り方を検討し続けることが必要だと思えます。

准看護師進学支援を通して得られた看護現場の現状や意見を行政や医師会、准看護学校等の関連団体と共有するとともに連携を深め、委員会の長期目標である2025年の埼玉県内の准看護師進学率アップと看護の質の向上を目指し、今後も准看護師進学支援活動を進めていきたいと考えます。

研修会開催のお知らせ

ナースセンター研修

「ネクストキャリア研修」

～地域で活躍する看護職を通して自分自身のライフスタイルに合わせた働き方、キャリア継続を考える～

日時 9月6日(金) 13:00～16:00

内容

- ・社会保険労務士による年金の話
- ・多様なキャリアと働き方(介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、訪問看護ステーション、障害児入所施設、デイサービス)

受講料 無料

就業環境改善推進委員会研修

「看護職が生涯を通じて健康に働き続けるために Part 2」

日時 9月20日(金) 10:00～16:00

内容

- ・ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)をめざして
～ハラスメント対策から健康づくりまで～
【講師】日本看護協会 労働政策部
看護労働課 課長 小村由香氏
- ・LGBTについて～多様な性の考え方～
【講師】グラデーション ダイバーシティ&インクルージョンコンサルタント
藤原加代氏

受講料 会員・非会員 3,000円

新企画研修

地域包括ケアを支える看看連携体制の構築

～ケアプロセスを切れ目なくつなぎ、意思決定を支える～

日時 9月27日(金) 10:00～16:00

講師 在宅ケア移行支援研究所
宇都宮宏子オフィス 宇都宮宏子氏

受講料 会員：3,000円 非会員：9,000円

新企画研修

看護を問いつける看護管理(2日間)

～師長の実践知を言葉にすること～

日時 10月18日(金)・12月16日(月)
10:00～16:00

講師 東京慈恵会医科大学
医学部看護学科 教授 佐藤紀子氏

参考図書 「師長の臨床」 佐藤紀子著(医学書院)

受講料 会員：6,000円 非会員：18,000円
※2日分

申込み方法▶埼玉県看護協会ホームページより

診療報酬改定に向けた研修会開催のお知らせ

〈1回目〉

2020年診療報酬改定までにやっておくべきこと

日時 令和2年1月25日(土) 13:00～16:00

講師 ※1・2回目共通
高崎健康福祉大学
准教授 木村憲洋氏

〈2回目〉

2020年診療報酬改定—これからやるべきこと—

日時 令和2年3月8日(日) 13:00～16:00

※申込み期日等については
別途ホームページでお知らせいたします。

埼玉県看護協会からのお知らせ

第27回 埼玉看護研究学会 演題申込がはじまりました



申込期間：7月1日(月)～8月20日(火)

ご希望の方はお早めにお申し込みください。

看護研究ひとロメモ

日本看護協会 **e-キャリアーズ** では、以下の文献を検索することが可能です。ご登録のうえ、ご利用ください。

- 文献検索：最新看護索引Web（会員版）
- 国際情報：ICN、ICM関係文書
- 日本看護学会：「論文集」（42回以降）、「論文集」優秀・推薦論文の全文（40回・41回）、「抄録集」（41回以降の全文）
- 各種報告書等：日本看護協会でもとめた報告書/職能集会検討資料（1951年度より全文）
- 調査研究報告：No.1（1975年）～全文
- 業務基準：各種看護業務基準
- 日本看護協会総会要綱：1951年度より全文
- 協会ニュース：1号（1947年）より全文が掲載
- 「看護」の一部記事掲載



アンケートへのご協力ありがとうございます



「さいたま」119号のアンケートに寄せられた広報誌への“感想”の一部をご紹介します。

- 新人ナースさんへのメッセージなどタイムリーな内容や、お知らせなど分かりやすかったです
- 新人ナースに向けたメッセージの情報をもっと活用したかった
- いつも楽しく読んでいます。講習会、研修会に参加した方の話を読んでなるほどと考えさせられることが多くあり、勉強になってます
- なかなか勤務で参加できない時も研修レポート等を読むことで勉強になります。現状を把握することもできるので興味をもって読んでいます
- 表紙の物品類が懐かしいですね。時代が変わっても看護する心はいつまでも変わらないでほしいですね。人との触れ合いが感じていける誌面を希望します

ご紹介できたのは、ほんの一部ですが、たくさんの感想に感謝しています。

これからも、皆様のお声を誌面に反映していくべく努めてまいります。



編集後記

広報委員会

令和最初の広報誌120号を無事に発行することができました。今号は“生きるを、ともに、つくる。”をテーマに急性期病院から地域へ連携した症例を特集にしました。看護職がもつ可能性を最大限に発揮し、健康課題に積極的に取り組むことを支援するNursing Nowキャンペーンに端を発しました。いかがでしたでしょうか。発行にあたりたくさんの方々のご協力をいただきありがとうございました。また、寄稿して下さったみなさまに心より感謝申し上げます。

広報誌「さいたま」120号はいかがでしたか？アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントが当たります。奮ってご参加ください。

- ◆応募締切:9/15(日)まで
- ◆抽選で30名様にクオカードをプレゼント

▼アンケート内容

- 1) 興味をひいた記事はありましたか？
- 2) 夏休みに行ってみたいところは？
- 3) Nursing Nowキャンペーン関連問題です。2020年、ナイチンゲールは生誕何年を迎えるでしょうか？
- 4) 東京2020オリンピックの観戦チケットはあたりましたか？



QUOカード
500円分
プレゼント!!



回答はこちら！